

令和7年(2025年)10月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年10月 数量 (トン)	2025年10月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	北海道産・青森県産中心の入荷でした。夏場の天候により、品質が不安定となったり産地での廃棄があつたりしたことで、数量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	702	112	95%	89%
2		キャベツ	群馬(嬬恋)県産中心の入荷でした。加工品の注文が少なく、数量はやや減少、平均単価はかなり安く推移しました。	644	92	90%	70%
3		きゅうり	埼玉県・群馬県産を中心に福島県、山形県産等からの入荷でした。夜温低下と天候不良の影響で、数量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	242	437	90%	84%
4		ねぎ	北海道産、青森県産中心の入荷でした。前年不作であったため、今年は例年並みの入荷となり、前年に比べ数量は増加、平均単価は安く推移しました。	189	444	119%	83%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。全体的に数量は平年並み、平均単価は大幅に高く推移しました。	560	212	99%	206%
6	果 実	ぶどう	全体的に小房傾向で着色不良等の影響もあつたため、数量はかなり減少、平均単価はやや高く推移しました。	43	1,564	61%	108%
7		りんご	早生・中生種については作柄不良で小玉傾向であったため、数量はやや減少、平均単価はやや安く推移しました。	180	400	93%	94%
8		柿	昨年が不作であったため各産地前年を上回る数量で入荷をしていたが、産地や品種によっては差があるものの、全体的に軟化傾向であったため、数量は平年並み、平均単価はやや安く推移しました。	205	320	101%	90%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+/-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+/-)3~10%
- ③増加(減少):(+/-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+/-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+/-)51%以上